

23/8/1 令和5年度第1回名古屋市人権施策の推進にかかる有識者懇談会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

10:00

司会：始める 人権室長

専門知見 5名

バリアフリー市民討論会 差別発言があった

制止、注意喚起、謝罪ができなかった

今後検証委員会を立ち上げて検証する

準備が整い次第公表

大変心配をおかけした

情報共有

1 開催要項

傍聴はすでにいるが公開する

報道 今からしばらくの間 その後は控えて

昨年に引き続きよろしく 宮前座長にお願い

10:03

宮前：座長を

報道、傍聴いるが忌憚のない意見を

実施計画について

松田：主査

資料1 昨年度は第2回で

局長級会議

SDGs

市民意識調査

本日より SNS 広告

ウクライナ

10:13

宮前：質問意見は

興味本位 野球大会 中日新聞1面に載っていた

私イベントは知らなかった

市：障害者スポーツ振興

勉強しながらやった

宮前：アンテナを広くして

市：車いすバスケ 子どもたちが参加  
保護者も参加

宮前：人権擁護委員にかかわる  
地域に障害者団体 いろんな人権にかかわる方とタイアップして

小林：資料1の2 黄色は

市：再掲 備考に  
はじめて出てきた場合は白

宮前：ご意見は

犬飼：重層的支援事業  
様々なプログラム 分かって使っている区とそうでない区  
使われていないプログラムも  
皆さんに周知していただいて

市：区のばらつきは課題  
プログラム 職員が知っているか知らないか  
どこに意識を持つか

小林：充足的ケア  
足りないところどうするか  
事業計画 コーディネートのなところ  
どこでみて考えるのか  
現状どうなっているのか

市：事業を羅列しているだけ  
組み立てる側 工夫して次回以降反映できるように

宮前：事業を行ったときに結果は評価は？

市：個別に検証

宮前：評価が分かるものがあったような  
達成度があれば

小林：2回目実施　そこで  
実施計画　現状は課題　それに対してどうするか  
こういう計画やっています→そうですね  
どういう課題→だからこういう計画  
重層的ケア、ヤングケアラー  
データがあって、こういう計画を取りまとめた

市：資料を見たときに実績1月？  
実績あって計画  
会議の進め方が問題

小林：以前から思った  
かなりの数の事業　評価  
質的なもうちょっと突っ込んだテーマ　有益な議論になる  
網羅的に出されても議論が絞れない

近藤：新たに入るのを提案は難しいかも  
翌年  
啓発やっているが、本邦外ヘイトスピーチ  
類似のもの　性的少数者、障害者へのヘイトスピーチ　国として同様の規制をとっている  
ところも  
自治体としても施策　今後検討してはどうか

市：重たい指摘  
大きな課題

近藤：もっと前から　人権条例は集合体  
これを機に考えては

市：ありがとう

宮前：貴重なご意見  
またなにかあれば

議題 1 は終わり

議題 2 市民意識調査

10:27

市：資料 2 の 1

10月31日まで

前回 49.7%

障害者の人権 名古屋城差別発言を受けてアンケート項目を追加

外国人 安城市生活保護でアンケート項目を追加

性的少数者を追加 トイレの問題

10:42

宮前：質問は

近藤：3 ページ 問 3 差別待遇 憲法

県と照らし合わせると、網羅的に書いてある

なるべく広く

市：あえて変える必要はないので、そちらの方向で修正したい

宮前：ほかに

議題 3 名古屋城バリアフリー市民討論会差別発言

10:46

市：6月3日 概要

5000 人にアンケート 資料、参加申込書郵送

討論会参加希望 56 人提出 うち当日来たのが 36 名

外部委託 安井建築設計に委託

司会進行を都市研究所スペースに再委託

当日市職員も運営に従事

武将隊 車いす市民 A さん意見を読み上げ

市民 A 発言

市が回答

希望者から自由発言

市民 B 差別発言 A さんが声をかけて言い争い

市職員が仲裁しいったんおさまる

市民 C 差別用語を含む差別発言 一部市民から拍手が起こった

全員にお詫び文書  
関係者謝罪 直接の謝罪ができていない  
記者会見 記者から差別発言指摘  
障害者要望書  
市議会で質問 総務環境  
スポーツ市民局、健康福祉局が検証

10:52

宮前：様々な問題  
ご意見がいただけたら  
外部の検証委員会がある？

市：準備中

宮前：スケジュールは？

市：できるだけ早く

宮前：まだ直接謝罪できていない

市：観光文化交流局 当日参加 団体関係者  
住所は分かっている 電話番号がわからなかった  
自宅を訪ねるのは失礼ではないか 団体に拒否  
新聞 いろんな気持ちがあって  
市長が会見 市長はあったようだ 謝罪はされた

小林：個別のことわからない  
いろんな展開 理解分りにくい  
第三者委員会検証 待つ  
一般論的 表現媒体行為 差別表現 自体が問題 人を傷つける  
表現によって周りの雰囲気を変える 社会を変えちゃう  
差別的な表現の問題  
差別する側の雰囲気に周りも変えちゃう  
社会全体の雰囲気 ヘイトスピーチがある気がする  
社会が変えられないような強い社会に  
発言があったときに、言ってしまったこと 雰囲気が変わらないように  
うまくできていなかった

障害のある方だけでなく、部落、性的マイノリティ  
根っこは共通している  
普段は表に出ていない ある時牙をむく瞬間  
牙を押さえる 人権施策として重要  
個別は個別で  
意識した啓発活動 職員研修

市：雰囲気を変えてしまう 二次被害を誘発してしまう  
検証はする 一般施策として啓発は重要  
お子様 吸収力がある

近藤：事前に説明を聞いたとき、  
差別用語を使わないように 若い人が認識していない 会場にいた  
子どもに教える 差別用語はかつて使われていた  
「知らないから教えないでいい」？ 年配は差別用語  
言葉がよくない 無頓着なら抑制効果  
教える必要があると思う

市：昔使っていた用語 年齢によって違う

小林：人権意識調査  
差別表現 人権侵害 「自分が人権侵害をしている」意識がない  
「人権が守られている」増えれば人権が守られている？  
アンケート 何ポイントあがりました 単純な話ではない  
かえってマイナスの現象

市：クロス集計  
国、県との比較しやすいように  
分析の仕方考えて

古田：教員の立場  
若い先生 受けている教育 最新の配慮  
中堅、年配 おとんちゃく  
くん、さん 中堅・年配の人  
NHK だれだれさん  
教育の仕方が大きい  
同じ教員

帰国子女→帰国児童生徒  
指導者、管理職 言葉自体取り組んでいく必要

宮前：ほかに

小林：人権条例的なものが作った方がいい  
中身はどうするか 詰める必要  
名古屋市としてきっちり取り組んでいく メッセージ性  
姿勢とメッセージ発信 意味がある  
大事だと思う  
具体的にどういうもの 包括自治体 愛知県との関係  
きっちり検討いただけたら

市：検討進めたい

宮前：討論会の場 討論を戦わせる  
事前に抑制するのは難しいのは理解できる あってはならない  
SNSの中 ネットの中 顔が見えない 汚い言葉  
公の場でも汚い言葉が飛び交う  
おかしな言葉が出たときにコントロールできるように  
発言には気を付けて  
途中でだれかがコントロール  
評価委員会立ち上げる時に考えて

市：検証チームに伝えていきたい

11:07

宮前：議題3そのほか ひとまとめで

市：ネット広報  
yahoo ジャパン、youtube  
名古屋市内限定  
ウクライナ人形

11:14

宮前：質問は

古田：靴づくり  
定員を超えていた

市：ソレイユ担当参加していない  
応募が多かった なるべく多く体験していただきたい  
31組最大

古田：ありがとう

近藤：ドルフィンズ  
人権について考えよう  
コーナーを動画でとってホームページにアップしては  
使ってもいいですか？

市：プロのバスケットクラブ  
著作権、肖像権

近藤：聞くだけ聞いて

宮前：コロナの時にコメントをもらって流した  
工夫して  
バスケット教室終わった後、人権教室

近藤：ファンサービス、無料広告

市：相談して  
これまでやってこなかった

宮前：ほかに  
全体を通じてあらためてご質問は  
今日の議事は終わり 事務局に戻す

市：参考にさせていただく  
議題2 調査票 庁内調整 資料公表はお控えください  
1月2月  
これで終了 これでご退出  
11:18